メキシコ国　AED普及促進事業
日本光電工業株式会社

メキシコ国の開発ニーズ

- メキシコでは、主要死因となっている急性心筋梗塞の患者数が毎年増加傾向にあり、その死亡率は、OECD加盟国平均の約3倍に昇り、早急な対応が求められている。

普及促進事業の内容

- 現地活動により、救命活動の中心となる医師・ナース等の医療関係者に対して、BLS（一次救命処置）講習を実施し、心肺蘇生法とAEDの使い方の正しい理解を進める。
- 本邦受入活動により、我が国のAEDの設置状況、運営体制の視察を行う。
- トレーニングを受けた医療関係者がBLS講習を実施し、PAD（一般市民による除細動）の必要性の認知を広げる。

提案企業の技術・製品

自動体外式除細動器
AED

（**A**utomated **E**xternal　**D**efibrillator）

事業のポイント

・AEDの効果的な活用及び普及のため、BLSの概念を定着させ、PADの必要性にかかる理解を促し、PAD の法整備化に向けて具体的な対応策を纏める。

メキシコ国側に期待される成果

- 医療関係者のBLSに関する知識及び技術の習得を図り、AEDの普及を促進することにより、短期的には同国の救命処置の質の改善に貢献する。
- メキシコの救急プロトコルの統一化を図る。
- 医療関係者から一般市民へBLS教育の裾野が広がり、将来的にAEDが広く国民に活用されるPAD導入の素地を築くこと出来る。
- PAD法整備化の下地ができる。

日本企業側に期待される成果

現状

- PADの必要性がメキシコ政府関係者に広く認知されていない。

今後

- PADの必要性がメキシコ政府関係者に広く認知され、PADの法整備に向けた議論に発展し、関係法案が成立される。
- AEDによるBLS講習が普及し、PAD市場の拡大と共にAEDの販売量が増加する。
- メキシコをリファレンスに南米各国のAED市場が拡大する。